

ドローンビジネス 活用事例を学ぶ 釧路あすなろク



例会会場で行われたドローンの操作

経済研修団体の「釧路あすなろクラブ」（中島康秀会長）は12日、釧路センチュリーキャッスルホテルで2月例会を開いた。講師にドローンを駆使したビジネスを展開するオイコスの森川浩一社長を招き、活用事例と今後の可能性について学んだ。

森川社長は、「釧路には日本の分野では、農業の空中散布の実績のほか、エゾシカの市街地侵入を防ぐため、音楽などを流して効果を確認する実証実験にも取り組んでいることを説明した。

森川社長は「釧路には日本を代表する素晴らしい風景がある。これまでも海霧をテーマにした撮影や雄大な海岸線をドローンで撮影してきたが、まるでアイランドのような風景が広がっている」と述べた。

（伊東義晃）

身がドローンで撮影した釧路港の夕日や釧路沿岸の断崖など道東の大自然を鳥の目線で見下ろした映像を紹介。新ビジネスとして農業